

● Culture

めく
中の全
内のコ
活、高
こした
巨

頭口晴
28)で
力した
し、し
引れを
落、堤



それ
を考
ト壁に
たちも
ツバ
されて
みんな
てもい

測した。実際、タリバン制
軍が自発的に降伏した面も
あったのではないかと推
測した。実際、タリバン制
10年以降、毎年数万人の
兵士や数千人の民間人が死
んでいったと指摘。「アフガ
ン人同士、もう戦いたくな
い」という思いがあり、政府
作教授(平和構築論)らが
報告した。東教授は、20
統合チームリーダーを務め
たことがある上智大の東大
シジョンに勤務し、和解・再
連アフガニスタン支援ミッ
ションに勤務し、関係研究所などが共催。国
セミナーは、上智大国際

関与の重要性を訴えた。
は口々に、国際社会の継続
機」が6日開かれ、報告者
セミナー「アフガン人道危
状に関するオンライン公開
月となった。アフガンの現
ム主義勢力・タリバンが首
都カブールを制圧して2か
アフガニスタンのイスラ

アフガン 支援継続訴え

オンラインセミナー 経済苦境、命の危険も



オンラインセミナーの様子

圧以降、治安は改善したと
いう。

ただ、米国などの制裁で、
経済的苦境は深まったと指
摘。制裁が、もともと脆
弱な女性や子どもを命の
危険にさらしているほか、

タリバン政権を崩壊させて
再び内戦になりかねない、
複雑な状況を招いたと語っ
た。その上で、「99.9%
のアフガン人は国に残って
生きなければならない。農
業関連の工事や教育など、
人道支援の枠をなるべく広
く定義し、支援していくこ
とが重要だ」と訴えた。
セミナーでは、農業用水
路の整備などを支援するN
GO「ペンシャール会」の
村上優会長も報告。現地は
今年、大半はつとに見舞われ、
1400万人が死線の上に
いると述べ、「国際世論はア
フガンの苦境を考慮すべき
だ」と訴えた。また、医療
支援などを行うNPO法人
「カレズの家」の永井仁
乃さんは、タリバンが女性
就労を部分的に許可するな
ど、1990年代の統治期
に比べ、態度に軟化も見ら
れると指摘した。他方、教
育を受けた人々が大量出国
し、人材不足に陥る恐れも
あると話した。(小林佑基)

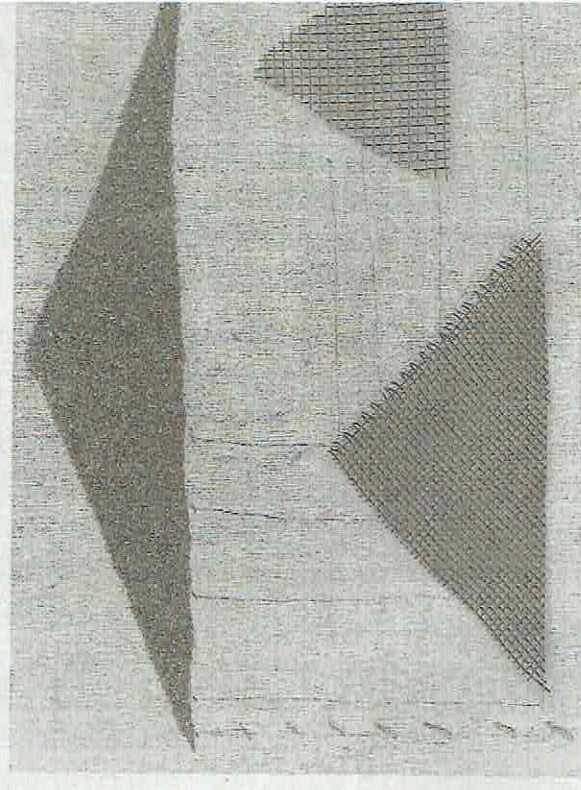
新報 「友達」とは自在な文体で

って代弁するような、視点を自在
に行き来するスエド語研究された

芸術の曲がり

られている曲は「動物の謝
肉祭」だろうが、これには
やや皮肉な背景がある。世
界中で愛されている曲であ
るにもかかわらず、なか
の1曲(有名な「白鳥」)
を除き、作曲者は生前の演
奏や出版を禁じていた。プ
ライベートな夜会のための
もので、他の作曲家の曲の
パロディも含まれるからで
ある。

オペラ「サムソンとデ
ラ、3曲の交響曲(とり
わけ第3番)や5曲のピア
ノ協奏曲、3曲のヴァイオ
リン協奏曲、交響詩「死の
舞踏」などが代表作。パリ
のマドレーヌ教会のオルガ



画・杉戸 洋

新しい
だるま
せし
ころる
は、具
5月の
の際の
れてい
とと
りせ
主宰
(ロシ
演、本
編
聴衆の
す意、
楽も聴
える二